



東京里山開拓団

東京里山開拓団のご紹介

2016年9月

本日の予定

- 19:00～ 東京里山開拓団の紹介
- 19:30～ 里山での活動紹介
- 20:00～ 会員との座談会
- 20:30 終了

開拓団の概要

活動主旨：荒れた里山を自ら開拓・活用することを通じて
現代都市社会の抱える課題克服に貢献する

会員：会社員・主婦・学生など20～40代の約20名

代表：堀崎 茂

東京在住の2児の父、サラリーマン、趣味DIY・アウトドア

経緯：

2006年 八王子の荒れた山林へ通う、目覚める

2009年 東京里山開拓団を設立

2012年 児童養護施設との里山開拓開始

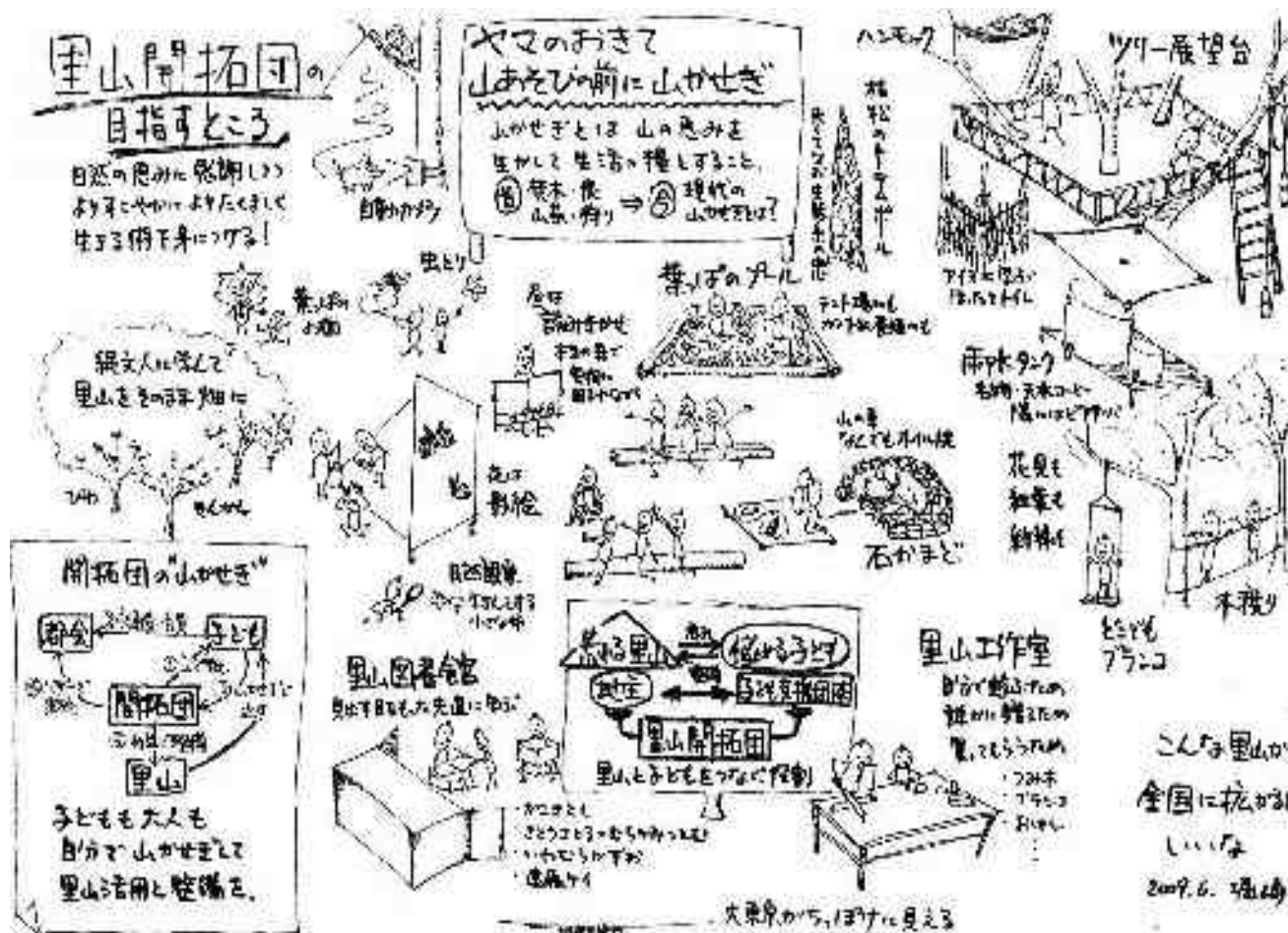
～現在 1,2か月に1回程度で合計32回実施
のべ150名以上の児童が参加



開拓団の特徴

☆ 環境保全と社会福祉の「一石二鳥」！

☆ 会員は20代～40代！



里山とは



里山のイメージ



「里山」の現実



東京周辺の「里山」の位置



Google航空写真を加工

荒れた里山の開拓



児童養護施設



児童養護施設とは
親から離れて暮らす理由、背景は
子どもたちの将来は

児童養護施設との里山開拓



社会福祉法人救世軍社会事業団の児童養護施設・機恵子寮より
小中学生を中心に毎回5~7名程度×31回実施

児童養護施設との里山開拓



今年5月から2件目の児童養護施設・調布学園との
里山開拓も実施！

里山の動物



里山開拓の実践方針

「よりたくましく、よりすこやかに」 byかこさとしさん

■ 自分の手と頭で開拓！ 大人も子どももも試行錯誤！

⇒ノウハウ伝授より、自らの創意・自発性・連帯感を重視

■ 自然の恵みを活用！ 四季を通じて関わる！

⇒自然・人とより深くつながることで、楽しさ・居心地・
つながり・自信・やりがいなどを実感できる機会を提供

■ 自分・他者・社会・自然にとっての意義を追求！

⇒「自分のため」＋「他人のため」の一石二鳥

⇒「環境保全」＋「社会福祉」の一石二鳥



目指すところ

荒れた里山を自ら開拓・活用することを通じて
現代都市社会の抱える課題克服に貢献する

⇒里山を児童養護施設の子どもにとっての「ふるさと」にしたい

⇒里山の現代ならではの「新たな活用」をさらに進めたい



2016年度目標

- ① **児童養護施設との里山開拓**を拡大・継続
(機恵子寮8回+調布学園2回、のべ60人)
- ② **里山の新たな社会的活用**を企画・推進
(企業向け里山メンタル研修など)
- ③ **活動の認知度を高める広報・渉外**を推進
(ネット・マスコミ活用、他団体連携、関係者報告など)
- ④ **里山開拓をリードできる人材育成の研修**を推進
(研修内容確立と継続実施など)
- ⑤ **助成金に依存しない自主財源**の確立
(企業・個人協賛、年20万円～)
- ⑥ **活動を継続・拡大できる会員体制**の確立
(会員実働20名+サポーター40名、役割分担)
- ⑦ **将来に向けた運営基盤**を強化
(NPO法人化、透明性の高い運営、山林追加、連携先拡大)

表彰・支援

かこさとし（絵本作家）イラスト活用、アドバイス（2009年度～）

徳永暢男（NPO雨水市民の会）雨水タンク寄付（2009年度）

東京都・セブンイレブン記念財団

東京の緑を守ろうプロジェクト助成（2011～13年度）

東京キワニスクラブ 社会公益賞（2014年度）

林野庁 森林・山村多面的機能発揮交付金助成（2015～17年度）

マスコミ紹介：NHKラジオ、BAILA、都政新報、福祉広報他

会員・サポーター

(1)東京里山開拓団会員

- ・開拓団の活動主旨に賛同し直接的に協力できる18～49歳の方
- ・里山開拓、準備会議、組織運営への参加が可能です
- ・年会費3千円（学生は1500円）
- ・里山開拓や会議時の交通費、自分の道具などは自己負担
※開拓団から費用補助を行うことがあります
- ・会員は下記の事項を遵守することが求められます
 - ①児童、会員等の個人情報管理を徹底すること
 - ②他の会員と協力して組織運営に支障を来たさないこと
 - ③出欠連絡など参加意思表示を明確に行うこと
 - ④特定の政治活動・宗教活動などを本活動のなかで行わないこと

(2)東京里山開拓団サポーター

- ・開拓団の活動主旨に賛同し間接的に支援いただける方（年齢制限なし）
 - ・開拓団より年間活動報告をメール等で送付します
 - ・全体活動報告会および懇親会への参加が可能です（年1回開催予定）
 - ・イベント告知などの広報への協力をお願いすることがあります
 - ・年会費3千円、6千円、3万円（法人は1口5万円）から選択
- ※里山開拓や準備会議、組織運営への参加は特別に認められたとき以外できません

⇒申込方法：事務局にメールkaitaku-jimu@googlegroups.comまたは直接申し出

当面の予定

■ 9/25（日）機恵子寮との**里山開拓**（第32回）

8時高尾駅集合～15時半高尾駅解散

■ 10/12（水）19時～**準備会議**@下北沢・代沢地区会館

※基本的に毎月日曜1、2回里山開拓、第二水曜夜に準備会議

※4月総会、8月きえご祭り招待、9月里山通信発行、12月アルバム制作、2月施設交流、3月活動報告・計画づくり

※企画、広報、渉外、会計、総務対応は適宜メール等で調整

※研修は準備会議内、里山開拓を通じて

※8月、12月など会員懇親会

ボランティアとして

- 貢献**：自分だけでなく社会のために
- 自発**：指示待ちではなく自ら進んで
- 継続**：自分のやれることを継続して
- 協調**：ひとりではなくみんなで協調して
- 実践**：頭でっかちより自ら率先して実践を
- 信用**：より信用される行動を